

宇宙飛行士とは？ 仕事内容となり方

宇宙飛行士の仕事の中身、選抜と訓練の流れ、年収の考え方を、JAXAの公表情報
の範囲で整理します。

ぼくは40年、太陽系をひとりで旅してきた
探査機なんだ。
人が宇宙で働くってどういうことか、案内す
るよ。



宇宙飛行士の仕事は、大きく4つ

01 科学実験・研究 RESEARCH

日本実験棟「きぼう」などで、微小重力や高真空を生かした実験を行う

中心業務

02 機体の運用・保全 OPERATION

ISSやきぼうのシステム管理・修理と、ロボットアームの操作

03 船外活動 EVA

宇宙服を着て、船外で装置の設置・交換や点検を行う

04 地上での開発・支援 ON THE GROUND

実験装置の開発、運用計画の立案、飛行中の仲間のサポ-

船の外に出るのは、ほんのひとときなんだ。
その一瞬のために、地上で何百時間も準備を
重ねるんだよ。



応募から飛行までの道のり

STEP 01

選抜試験に合格

2021年度募集は**学歴・専門分野が応募条件から除外**。応募者は4,127名



STEP 02

基礎訓練 約2年

座学、ISS・きぼうのシステム、語学、体力づくりを並行して習得



STEP 03

宇宙飛行士に認定

全項目を修了し審査を経て認定。2024年10月には2名が認定された



STEP 04

ミッション固有訓練 約1～2年

搭乗が決まってから、船外活動などの技能を徹底的に磨く

応募から実際の飛行まで、年単位の準備が続く

年収は「公表されている範囲」で見る

宇宙飛行士という職種の確定年収

未公表

JAXA職員としての枠組みで理解する

- 所属

日本の宇宙飛行士は、JAXAの職員として採用される

- 給与の根拠

国の基準に準拠した内部規程。報酬・給与等は毎年公開されている

数字は募集要項と公開資料で確かめるのが確実

いまの専門は、宇宙の現場につながる

いまの専門

機械・電気・材料の設計開発

IT・システム運用

医学・生命科学

物理・化学などの研究

宇宙の現場での役割



ISSやきぼうで使う実験装置をつくる



きぼうの運用を支える地上の管制チーム



飛行士の健康を支える専門家



微小重力を使う宇宙実験を地上で設計する

まとめ | 宇宙飛行士の仕事と、その先の選択肢

01 仕事は実験・機体運用・船外活動と、地上での開発・支援

02 2021年度募集から学歴・専門分野は応募条件から除外

03 現役の日本人飛行士は6名。年収は職種別の確定額が未公表

まずは宇宙の職種を知ることから。

宇宙に行くことだけが宇宙の仕事じゃないんだ。
きみの専門が届く場所は、きっとあるよ。

